

中期的目標として町の預金である「基金」に依存しない中で、行政サービスを推進する財政運営の構築を目指すこととし、行政体制及び事務事業全般について、見直しを進めながら地域の振興発展に取り組んでまいります。

新たに、生活防衛のための緊急対策に基づく「地域雇用創出推進費」が創設され、地方交付税の増額が見込まれますが、厳しい財政運営には変わりません。

このため、本年度の予算編成にあたっては、農林業の経営基盤強化を重点項目とし、これら「政策課題への的確な対応」及び「財政改革への徹底した取り組み」、「財源の確保」を基本方針に定めたとしておりますが、限りある財源の中で将来を見据えて事務事業の検証を行い、その効果新たな分野へ投入することへの検討を行い、長期的な視点に立つたまちづくりを進めて行くことといたします。

また、普通建設事業などの投資的事業に充当する財源として公共施設等整備基金などの積立金を取り崩し、歳入に繰り入れることといたしました。

用できる力を育むことが重要であり、これらの調査結果を踏まえ、学校における児童生徒への教育指導や体育・健康に関する指導などを行い、学力や体力の改善に取り組んでまいります。

特別支援教育についてはありますが、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、学校における適切な指導及び必要な支援を行うため、平成19年度、南富良野町特別支援教育連絡協議会を設置したところであり、引き続き特別支援教育の推進に努めてまいります。

豊かな心の育成につきましても、子ども達は社会性や規範意識が薄く、道徳心が低下していると言われ、問題行動の低年齢化と凶悪化や「いじめ問題」などが大きな社会問題となっております。教師と子ども達の心のふれあいを通じて、善悪の判断や社会のルールを守るという基本的な規範意識や倫理観の醸成、更には公共心や他人への思いやる心など、社会性を育てる教育が求められておりますので、子ども達の心に響く道徳教育

その結果、予算規模は、一般会計

32億4,428万8千円
国民健康保険事業特別会計
3億6,308万7千円
老人保健特別会計
866万3千円

後期高齢者医療事業特別会計
3,609万6千円

介護保険特別会計
2億3,905万7千円

介護サービス事業特別会計
2億2,462万6千円

簡易水道事業特別会計
1億9,796万9千円

公共下水道事業特別会計
1億5,372万7千円

総額
44億6,750万4千円

となり、町長選挙のため骨格予算となりました前年度当初予算と比較しますと総額で3・8%の増となった次第であります。

議員各位をはじめ町民皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます、町政執行方針といたします。

平成21年度 教育行政執行方針



教育行政執行方針を述べる生駒教育長

教育行政の基本姿勢

平成21年第1回南富良野町議会定例会の開会にあたり、教育行政の方針を申し上げ、町議会並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

近年、わが国においては、急激に変化する社会情勢に対応して、様々な制度の見直しが行われてきており、教育につきましても、新しい教育基本法の制定を受けて改正された教育関連三法に基づく具体的な改正が進められております。

連携のもとに、地域に根ざした教育行政の推進に努めてまいります。

学校教育

学校教育の推進

はじめに、学校教育についてありますが、学校教育法の改正により「確かな学力」を育むにあたって、基本的な知識及び技能の習得をさせ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力の育成や主体的に学習に取り組む態度を養うことを基本として、学校教育の推進に努めてまいります。

全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査によりますと、子ども達の基礎学力や家庭における学習習慣が十分に身につけていないこと、また、体力が低下傾向にあること等の課題が明らかになっております。子ども達が大きく変化していく社会の中で、自立して生きていくためには、基礎的・基本的な知識・技能・体力を確実に身に付け、それらを活

学校の耐震2次診断の実施

学校施設の耐震化については、校舎は児童生徒が一日の大半を過ごす所でもあることや、災害発生時には緊急避難場所にもなることから、安全性の確保を図ることが緊急の課題でもあり、さらに学校の将来の在り方の検討を進めるために、本年度幾寅小学校と南富良野中学校の鉄筋コンクリート造2階建ての部分について耐震2次診断を実施してまいります。

小学校外国語活動推進委員会の設置

学習指導要領の改訂に伴い、小学校5・6年生への外国語活動（授業）については、平成23年度からの完全実施が義務付けられましたが、平成21年度において2年後のスムーズな実施を推進するため、小学校外国語活動推進委員会を設置し検討を進めてまいります。

社会科副読本の改訂発行

また、小学校3・4年生の授業に使用する社会科副読本は、平成12年に改訂したものを使用しておりますが、8年が経過し内容が現在と相違し



町内児童生徒が一同に会して行われたバイキング給食

学校給食センター広域連合へ移管

南富良野町学校給食センターは、本年4月から富良野広域連合に移管となりますが、当面は自賄い方式で運営する計画でありますので、本年度においても、これまでと同様に本町に所在する学校給食センターとして安全で安心な学校給食を提供してまいります。学校給食につきましては、栄養バランスの優れた献立を通して、成長過程にある児童生徒に必要な食事を提供するだけでなく、食の大切さ、伝統的な食文化、食の安全、食品の生産・加工・流通、食品の栄養などを学ぶ食育教育の一環として、その役割は極めて大きいものがあります。今後も栄養バランスを考慮した安全で好まれる給食の提供はもとより、児童生徒が一同に会しふれあう「バイキング給食」やメニューに合わせた食器の使い分け、スキー場等への直接配送など、これまでと同様にきめ細やかな供給を継続するとともに、農作物の栽培による体験学習等で、学校における食育の推進に努めてまいります。

中学校

中学校4校を統合してスタートした南富良野中学校は、開校して4年を経過しており、基礎・基本の学習指導をはじめとした各種指導や部活動の推進に努めておりますが、本年度も本校の教育目標であります「心豊かに学び、共に明日の郷土を拓く、たくましい生徒」のもと、教育活動の推